

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション国際世論調査
「エンド・オブ・イヤーサーベイ2018」
50か国グローバル調査

調査結果

株式会社 日本リサーチセンター

◆「エンド・オブ・イヤーサーベイ」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都中央区、代表取締役社長 鈴木稲博）が加盟しているギャラップ・インターナショナル・アソシエーションでは、昨年10月から12月にかけて世界50カ国の人々を対象に国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本の属性別調査結果を加えて、日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

「エンド・オブ・イヤーサーベイ」は1977年にジョージ・ギャラップ氏により開始され、以降毎年、世界各国で実施しています（今回が42回目となります）。また、本調査にあたってはWIN(Worldwide Independent Network Of Market Research)と提携して実施しています。

◆ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、現在はオーストリアに本部があります。現在世界のおよそ50カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションには日本で唯一の代表として1968年に加盟しました。

1) 2019年が2018年より「良くなる」は、世界全体で39%、日本では24%

- 2019年が2018年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が41%で最も多く、「良くなる」は24%。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が39%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- 2019年が2018年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、日本は50か国中26位。上位3か国は、インド、アルバニア、メキシコの順。一方、下位3か国は、ヨルダン、レバノン、イタリアとなっている。

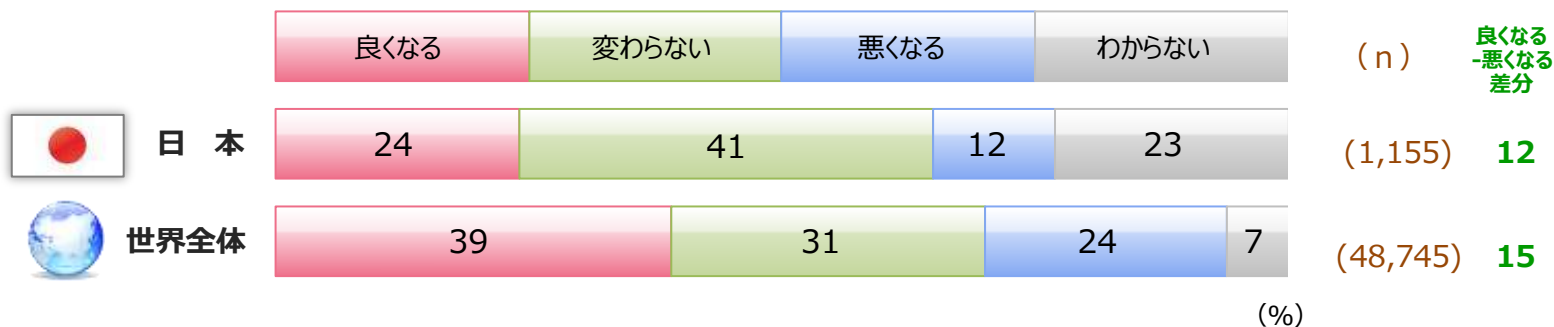
2) 2019年は「世界がもっと平和な年になる」は、世界全体で27%、日本では9%

- 世界では2019年は2018年に比べてどんな年になると思うか質問した結果は、日本では、「あまり変わらない」と答えた割合が37%で最も多く、「世界がもっと平和な年になる」と答えた割合は9%と低い。
- 世界全体では、「世界がもっと混乱した年になる」が35%で最も多いが、「あまり変わらない」が32%、「世界がもっと平和な年になる」は27%と、いずれも3割前後の割合。
- 世界と比較すると、日本では、「世界がもっと平和な年になる」の割合が18ポイント少ない。また、「わからない」の割合が16ポイント多い。
- 「世界がもっと平和な年になる」と「世界がもっと混乱した年になる」の差は、世界では-8ポイント、日本では-23ポイントと、日本では2019年の世界の平和について悲観する割合が高い。
- 2019年は「世界がもっと平和な年になる」と「世界がもっと混乱した年になる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、日本は50か国中32位。上位3か国はインド、ガーナ、パラグアイの順。一方、下位4か国は、フランス、香港、ハンガリー、フィンランドとなっている。

2019年が2018年より「良くなる」は、世界全体で39%、日本では24%

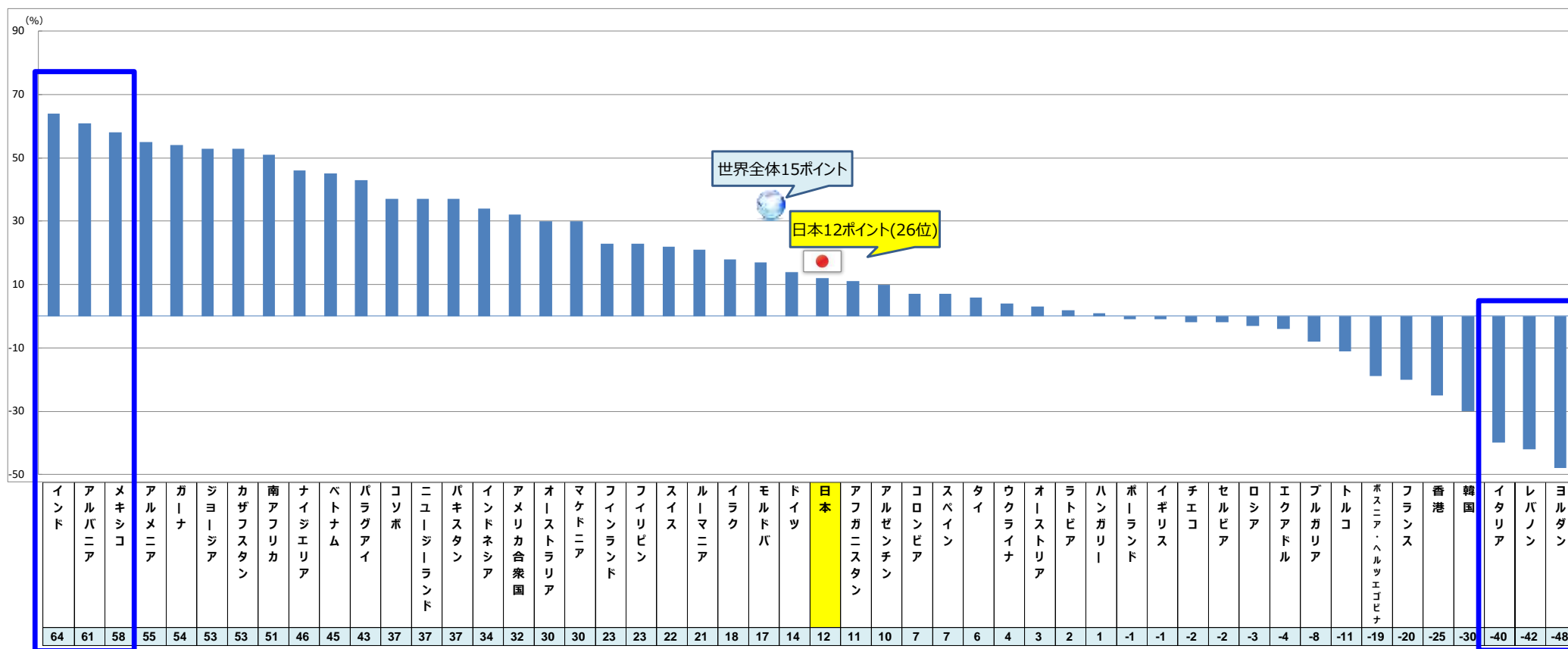
- 2019年が2018年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が41%で最も多く、「良くなる」は24%。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が39%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では「良くなる」が「悪くなる」を15ポイント上回るが、日本は12ポイント。

Q あなたご自身は、2019年は2018年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

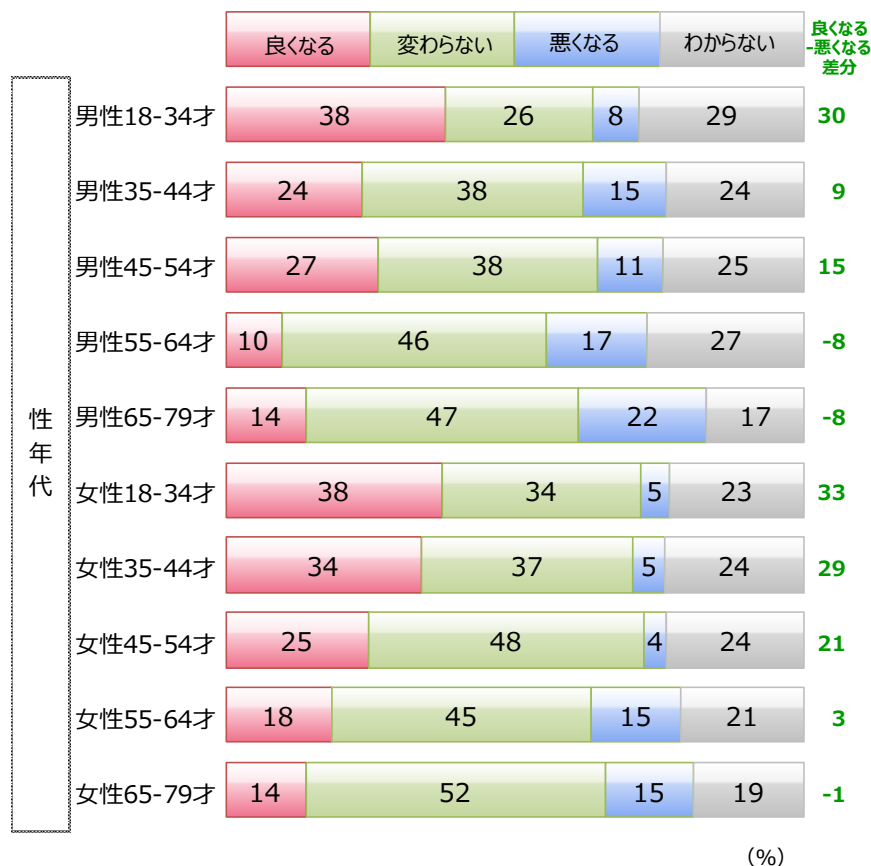
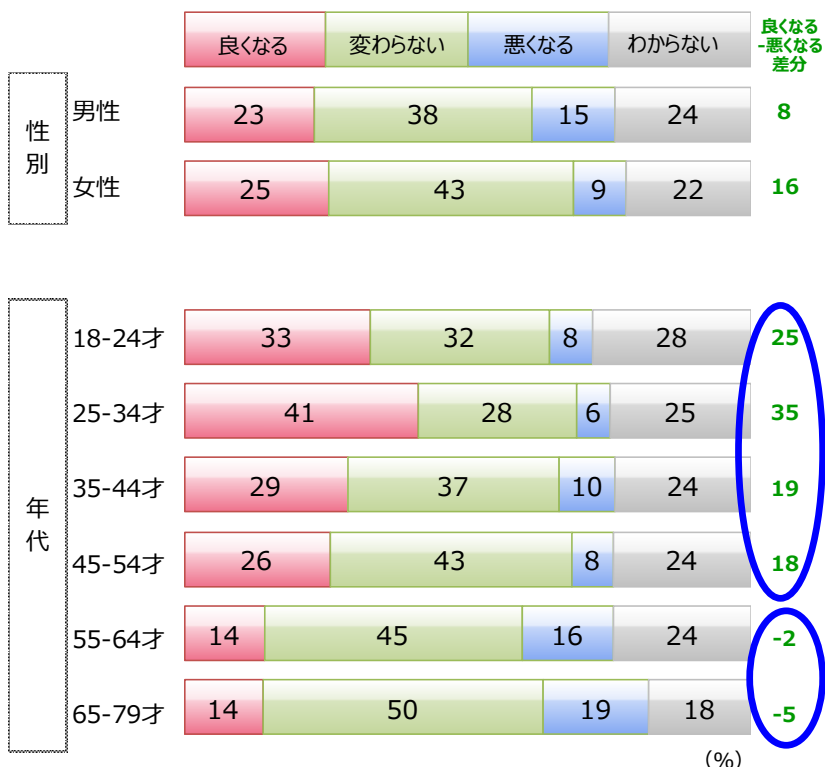


- 2019年が2018年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位3か国は、インド、アルバニア、メキシコの順。一方、下位3か国は、ヨルダン、レバノン、イタリアとなっている。
- 日本は50か国中26位。

■ 各国の「良くなる」-「悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



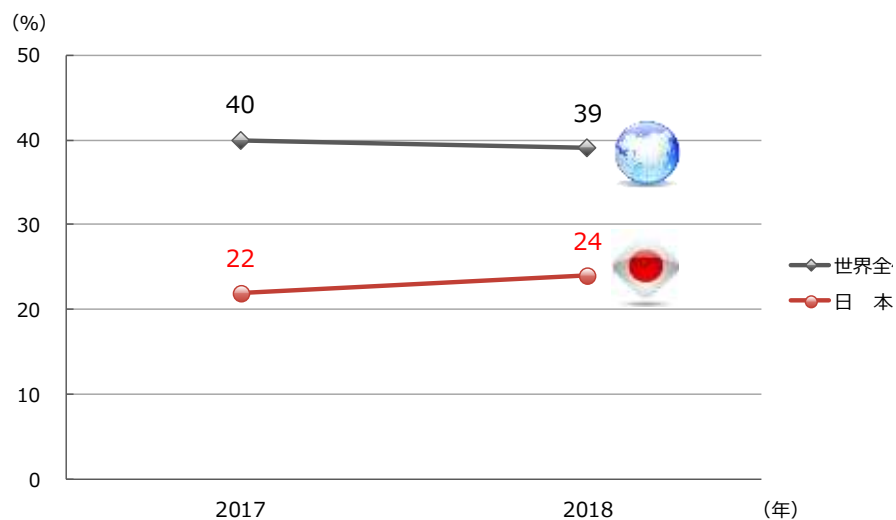
●日本の結果を年代別にみると、54歳以下は、「良くなる」の割合が「悪くなる」の割合を上回り、55歳以上では、「悪くなる」の割合が「良くなる」の割合を上回る。



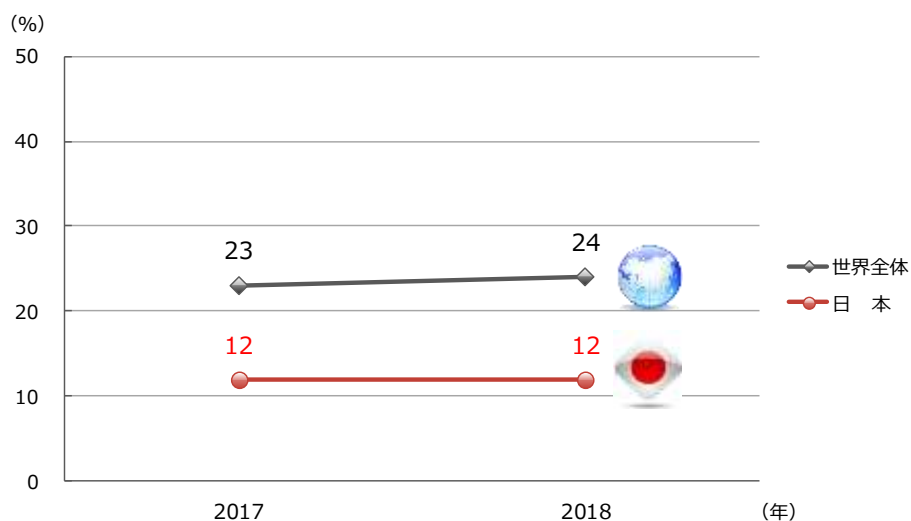
- 2019年が2018年より良くなるかどうかの質問を前回（2017年）と比べてみると、世界全体では2019年が2018年より「良くなる」「悪くなる」と答えた割合はほぼ変わらない。
- 日本では、2019年が2018年より「良くなる」と答えた割合は、前回（2017年）と比べて2ポイントの微増。

Q あなたご自身は、2019年は2018年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

「良くなる」回答比率推移(世界全体、日本)



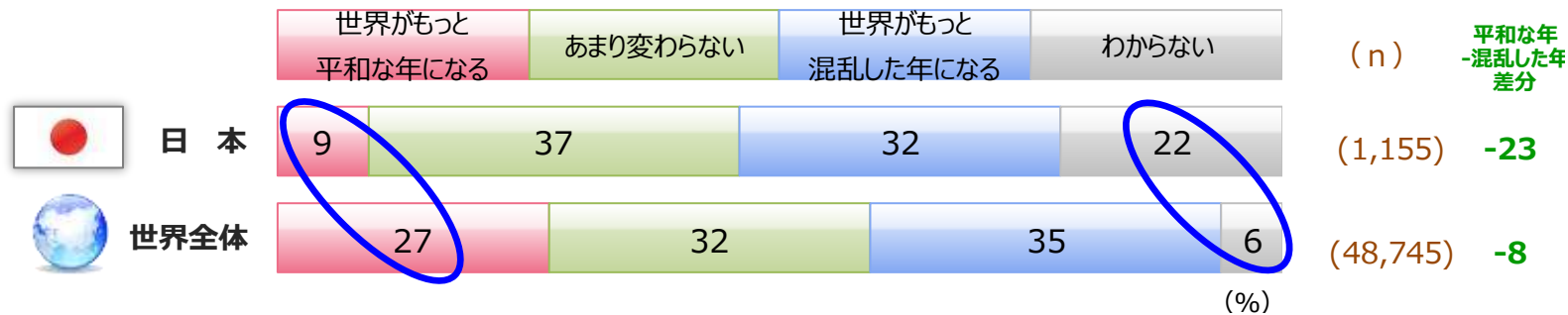
「悪くなる」回答比率推移(世界全体、日本)



2019年は「世界がもっと平和な年になる」は、世界全体で27%、日本では9%

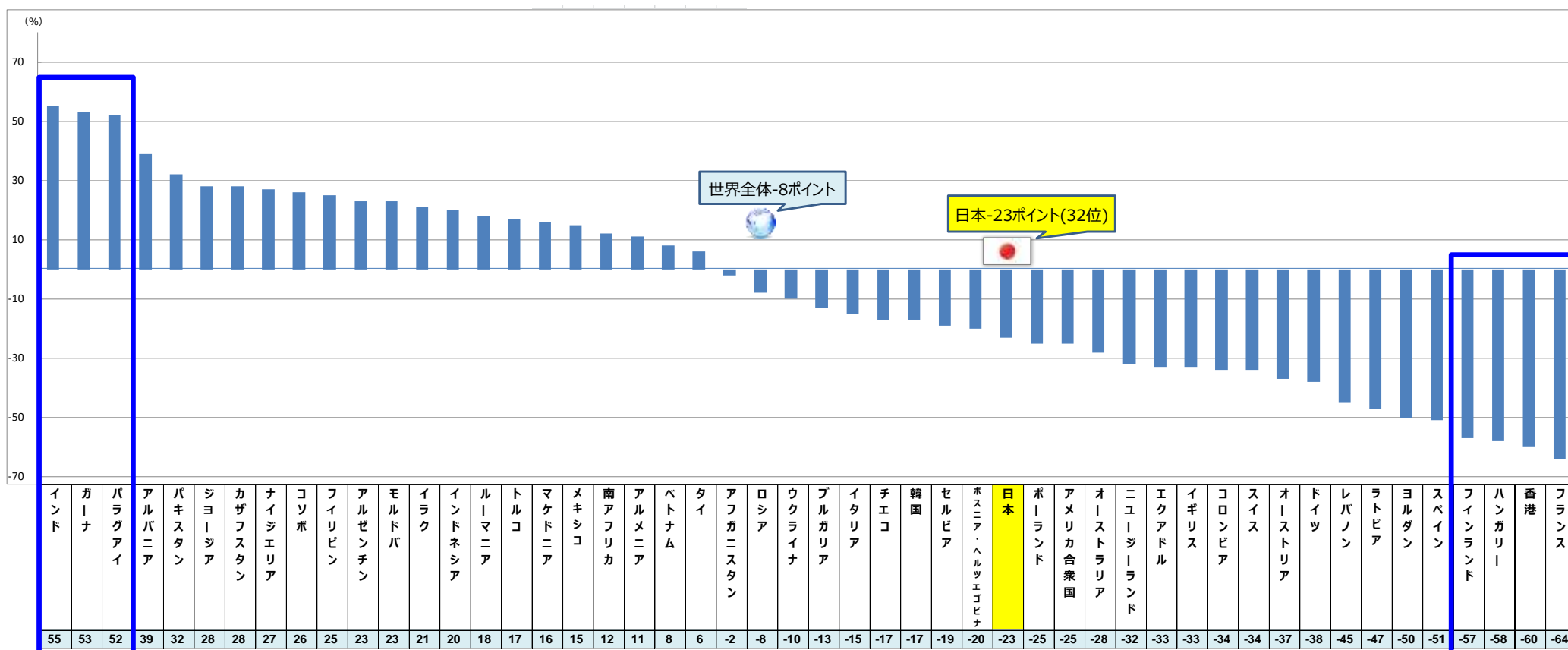
- 世界では2019年は2018年に比べてどんな年になると思うか質問した結果は、日本では、「あまり変わらない」と答えた割合が37%で最も多く、「世界がもっと平和な年になる」と答えた割合は9%と低い。
- 世界全体では、「世界がもっと混乱した年になる」が35%で最も多いが、「あまり変わらない」が32%、「世界がもっと平和な年になる」は27%と、いずれも3割前後の割合。
- 世界と比較すると、日本では、「世界がもっと平和な年になる」の割合が18ポイント少ない。また、「わからない」の割合が16ポイント多い。
- 「世界がもっと平和な年になる」と「世界がもっと混乱した年になる」の差は、世界では-8ポイント、日本では-23ポイントと、日本では2019年の世界の平和について悲観する割合が高い。

Q 世界では、2019年は2018年に比べてどんな年になると思いますか。(単数回答)

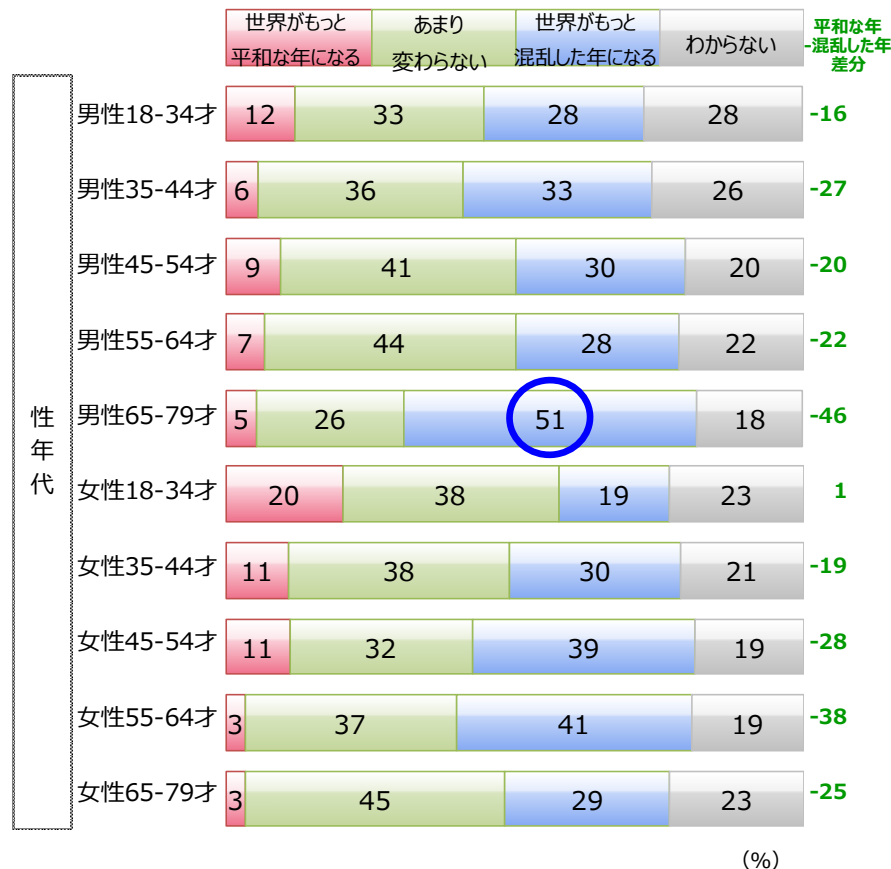
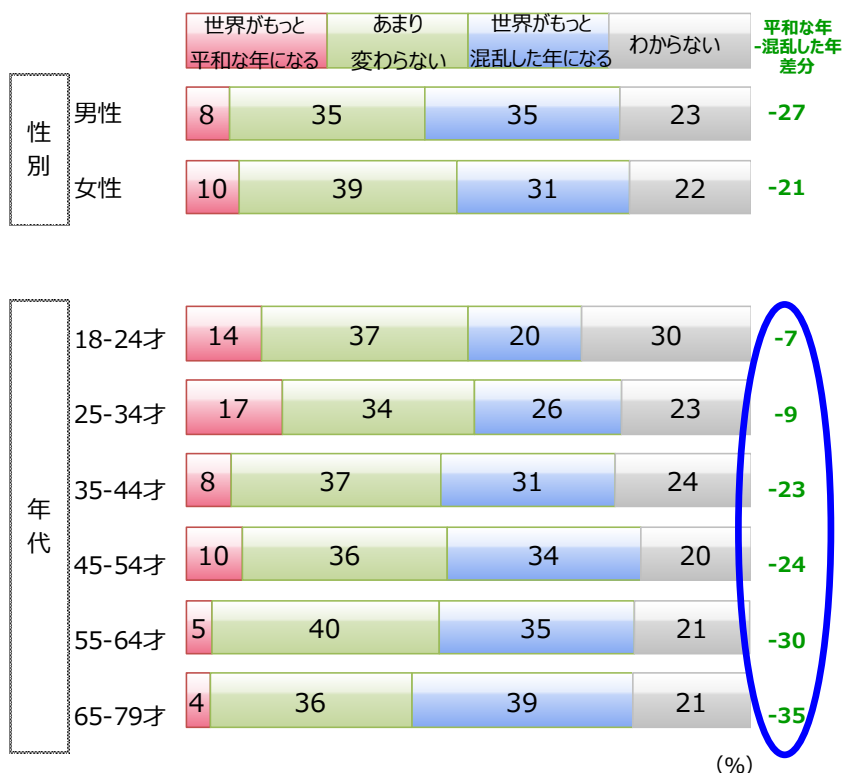
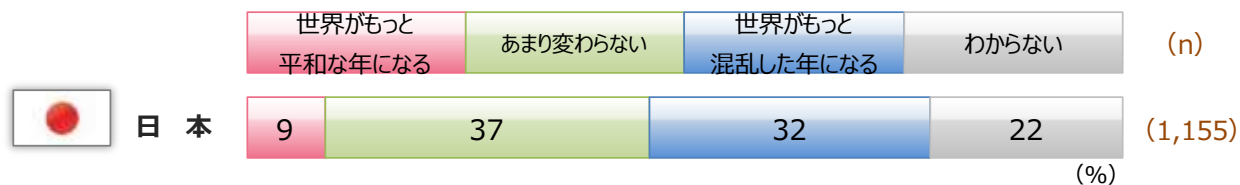


- 2019年は「世界がもっと平和な年になる」と「世界がもっと混乱した年になる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位3か国はインド、ガーナ、パラグアイの順。一方、下位4か国は、フランス、香港、ハンガリー、フィンランドとなっている。
- 日本は50か国中32位。

■ 各国の「世界がもっと平和な年になる」-「世界がもっと混乱した年になる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



- 日本の結果を年代別にみると、年代が高くなるほど、2019年は「世界がもっと平和な年になる」と回答した割合よりも、「世界がもっと混乱した年になる」と答えた割合が大きい。
- 性年代別にみると、男性65-79才が、他の性年代と比べて「世界がもっと混乱した年になる」の回答が51%と多い。



● 50カ国の内訳と調査手法及び調査サンプルサイズは、以下の通り。

地域	国	手法	サンプルサイズ
アジア	日本	調査員による個別訪問留置調査	1,155
	インド	CATI	1,001
	インドネシア	F2F	1,040
	タイ	F2F	600
	パキスタン	F2F	1,000
	フィリピン	F2F, PAPI	1,000
	ベトナム	F2F, CAPI	600
	韓国	F2F	1,500
	香港	Online	505
	大洋州	オーストラリア	CAWI
ニュージーランド		CAWI	1,011
北米	アメリカ合衆国	Online panel	1,045
中南米	アルゼンチン	F2F, CAPI	1,002
	エクアドル	F2F	700
	コロンビア	CATI	1,000
	パラグアイ	Online	515
	メキシコ	Online	500
中東	アフガニスタン	F2F	1,763
	イラク	CAPI	1,000
	トルコ	CATI	991
	ヨルダン	F2F	1,000
	レバノン	F2F	1,000
アフリカ	ガーナ	CAPI	500
	ナイジェリア	F2F, TAPI	800
	南アフリカ	Online	1,515

● 日本の属性別調査サンプルサイズは、以下の通り。

地域	国	手法	サンプルサイズ
欧州	アルバニア	CAPI	1,040
	アルメニア	CAPI	1,111
	イギリス	Online	1,001
	イタリア	CAPI	1,072
	ウクライナ	Online	500
	オーストリア	CAWI	1,000
	カザフスタン	F2F CAPI	1,400
	コソボ	F2F	978
	ジョージア	CAPI	1,008
	スイス	Online panel	1,000
	スペイン	CATI	800
	セルビア	F2F, TAPI	1,012
	チェコ	F2F	1,500
	ドイツ	CAWI	1,000
	ハンガリー	CAWI	1,000
	フィンランド	CAWI	1,134
	フランス	CAWI	1,000
	ブルガリア	CAPI	1,053
	ポーランド	F2F, PAPI	1,017
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	CATI	1,000
	マケドニア	F2F, TAPI	1,212
	モルドバ	CATI	600
	ラトビア	CAWI	1,005
	ルーマニア	CATI	530
	ロシア	F2F	1,000

50か国合計 48,745

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	573
	女性	582
年代別	18-24才	104
	25-34才	153
	35-44才	222
	45-54才	199
	55-64才	190
	65-79才	287
性年代別	男性18-24才	59
	男性25-34才	78
	男性35-44才	110
	男性45-54才	98
	男性55-64才	92
	男性65-79才	136
	女性18-24才	45
	女性25-34才	75
	女性35-44才	112
	女性45-54才	101
女性55-64才	98	
女性65-79才	151	

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

エンド・オブ・イヤーサーベイ2018 担当

メール：information@nrc.co.jp

TEL: 050-3785-0731(WIN/GIA担当 下瀬川・道広)

本リリースの引用・掲載の際は、必ずクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。